

2010年 第23回 和歌山コールドカップ

レース公示(Notice of Race) 2010.1.16 コース図修正

1.主催団体

共同主催

和歌山県セーリング連盟、NPO法人和歌山セーリングクラブ

後援(※申請中)

和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会

和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山市体育協会

2.規則

2.1 2009-2012 セーリング競技規則(以下 RRS とする)定義された「規則」。

2.2 RRS 付則 P を適用する。

2.3 RRS 61.1(a)の「(2)艇体の長さが6メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はない。」を削除し適用する。抗議用の赤色旗を用意すること。

3.広告

主催団体は各競技艇に対し大会スポンサーの広告を艇体に表示するよう要求する場合があります。

4.競技種目

国際 OP 級「A クラス」(上級者)、「B クラス」(初心者)

5.資格および参加

5.1 2009 年度日本セーリング連盟会員の者。

5.2 A クラスの出場者は、2009 年度日本 OP 協会会員の者。

5.5 所定の参加申込書で、2010 年 2 月 1 日(月)までに必着で、e メール、FAXにて申し込むこと。
なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。

申込み先

和歌山セーリングセンター

TEL 073-448-0251、FAX 073-494-3252

Mail info@wakayama-sailing.org

6.参加料

5,000 円/艇(2/6~7 のマリーナ使用料を含む)

昼食は各自で用意のこと。

参加料は大会受付で原則としてクラブ単位で徴収する。

7 競技日程

2 月 6 日(土)

07:00

マリーナ開門

08:30~09:20

大会受付

09:20

開会式・艇長会議

10:25

最初のクラスの 1 日目第1レースの予告信号
引き続きレースを行う。

2 月 7 日(日)

08:00

マリーナ開門

09:25

最初のクラスの 2 日目最初のレースの予告信号
引き続きレースを行う。

ただし、14:00 以降に予告信号が発せられることはない。

16:00(予定)

閉会式、表彰式

*本大会は最大7レースまでとする。

*両日も海上での昼食を予定しているので、各自で用意のこと。

8.計測

8.1 大会期間中 ハル、タガーボード、ラダー、マスト、ブーム、スプリット、セールを各1つのみ使用できる。

8.2 (a) 損傷または紛失した装備品の交換はレース委員会の書面による承認がなければ許可されない。

(b) 交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

(c) 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のレース委員会によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にレース委員会による検査を受けた後、書面による承認を得なければならない。

8.3 大会期間中、陸上や海上で計測および安全規定を検査することがある。

9.帆走指示書

帆走指示書は2月5日までに大会WEBサイトで公開する。

10.開催地

和歌山市和歌山マリーナシティ「和歌山セーリングセンター」及び和歌浦湾
添付1図にレースエリアの場所を示す。

11.コース

添付2図に示す。

12.得点

12.1 1レースの完了で本大会は成立する。

12.2 完了したレースが4レース未満の場合、全てのレースの合計得点をその艇の得点とする、これは付則A2を変更している。

13.安全

13.1 海上では常に適当な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは、適当な個人用浮力体と見なさない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これによりRRS40を変更する。

13.2 国際OP級クラス規則の4.2(a)、4.2(b)、4.3(a)、4.3(b)および3.3.4に加えて、各艇にはブレードの面積が0.025 m²以上のパドルを確実に取り付け、選手は笛を救命胴衣にラニヤードで付けなければならない。この指示に従わなかった選手は、この違反が認められた各レースの得点から5点加算のペナルティーを受ける。

14.支援艇

14.1 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。

a) 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇、および定員の半数を超える乗艇は認められない。

b) 支援艇はレース委員会が支給する『グリーン色』旗を掲揚しなければならない。

15.賞

「Aクラス」1～3位

「Bクラス」1～3位

※但し参加艇数により変更する場合がある。

16.責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照。主催団体等は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

17.その他

Aクラスの上位者に、2010年度OP級全日本選手権出場資格が与えられるよう日本OP協会に申請する。(2009年度実績3名)

18.大会事務局

和歌山セーリングセンター

〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地

TEL 073-448-0251、FAX 073-494-3252

Mail info@wakayama-sailing.org

大会WEBサイト(和歌山セーリングクラブホームページ内)

<http://www.wakayama-sailing.org>

和歌山セーリングセンター 営業時間9:00～17:00 火曜日定休日

以下はNORに含まれない参考情報である。

A1.艇の搬入搬出

競技艇の搬入は、2010年2月6日(土)7:00から

搬出は2月7日(日)18:00まで

また、参加者以外の車は駐車料金(1日500円)が必要。

A2.運営の協力

大会運営にご協力いただける方は参加申込時にお知らせ下さい。調整の上、レース委員会からレース委員を委嘱します。

A3.支援艇に関する追加情報

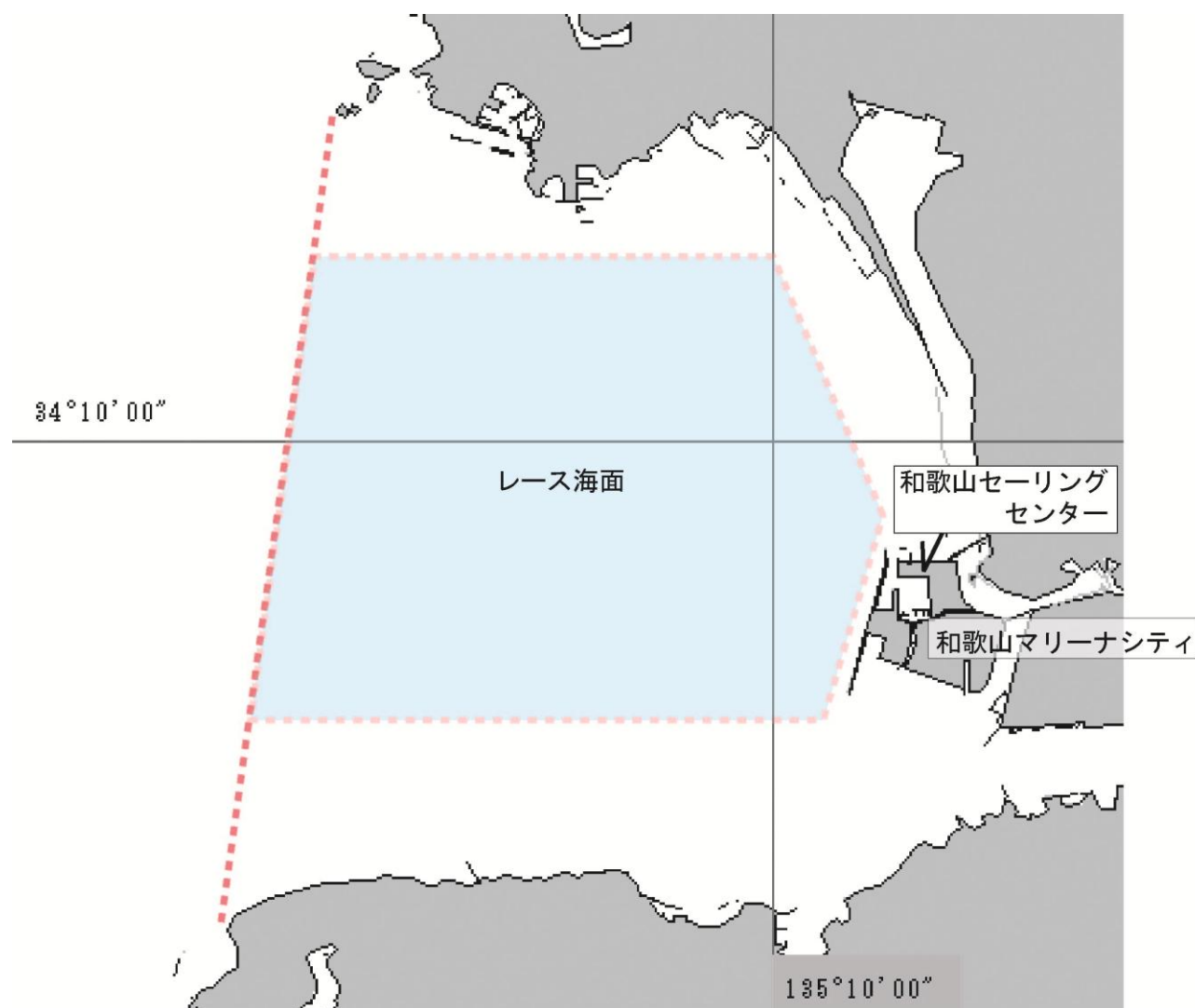
- a) 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
- b) ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、クラブ単位で行うこと。
- c) 支援艇は、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険)に加入していないといけない。
- d) 運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。
- e) 海上でレース委員会から支援艇へのレスキューの要請は、運営艇に『グリーン色』旗を掲揚して通告する。

A5.宿舎の案内

近隣の宿泊施設情報

- a. 和歌山マリーナシティ・ロイヤルパインズホテル 073-448-1111
<http://www.marinacity.com/hotel/> マリーナから徒歩すぐ
- b. 紀三井寺ガーデンホテルはやし 073-444-1004
<http://www.kimiideragardenhotel.com/> マリーナから車で5分
- c. ビジネスホテル圭(ます) 073-447-2034 マリーナから車で5分
- d. 新和歌ロジ 073-444-9000 マリーナから車で10分

添付 1図「レースエリア」



添付 2図「コース」

コース (クラス旗)

Aクラス  スタート→①→②→③→④→フィニッシュ

Bクラス  スタート→①→②→③→④→フィニッシュ

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、
各コースから150m以上離れること

